

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年5月15日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2011

課題番号：20330072

研究課題名（和文） オーストラリア政府接收資料を中心とする戦前の日豪交易の社会経済史研究

研究課題名（英文） Socio-Economic History of the Japan-Australia Trade in the Prewar Period: A Study Based on the Records Seized by the Controller of Enemy Property of Australia

研究代表者

天野 雅敏 (AMANO MASATOSHI)

神戸大学・大学院経済学研究科・教授

研究者番号：80122985

研究成果の概要（和文）：本研究では、戦前の日本と豪州の交易について、貿易商社の動向に焦点をあてて実証研究をおこなうこととした。オーストラリア国立公文書館シドニー館等の資料調査を実施し、多くの貴重な資料を収集した。それらの研究にもとづき、天野雅敏著『戦前日豪貿易史の研究—兼松商店と三井物産を中心にして—』（勁草書房、2010年）を刊行した。また公開研究会の実施をふまえ、研究成果報告書『オーストラリア政府接收資料を中心とする戦前の日豪交易の社会経済史研究』を刊行した。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this research project shed new light on the prewar Japan-Australia economic relationship and on the development of Japanese trading companies operating in prewar Australia. The large number of documents confiscated from Japanese trading companies by the Australian government at the start of the Pacific War are held in Sydney office of the National Archives of Australia. We found out a lot of important documents about Japanese trading companies in prewar Australia held in the National Archives' collection. Based on the research of these documents and other sources, *The Historical Study of Prewar Japan-Australia Trade : The Case of F. Kanematsu Trading Company and Mitsui Bussan* was published by Masatoshi Amano. After the Research Forum Arising from the Grant-in Aid for Scientific Research Project on 19 February 2012, the Research-results Report: *Socio-Economic History of the Japan-Australia Trade in the Prewar Period: A Study Based on the Records Seized by the Controller of Enemy Property of Australia* was drawn up by the office of Masatoshi Amano at Kobe University.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	2,200,000	660,000	2,860,000
2009年度	1,400,000	420,000	1,820,000
2010年度	2,400,000	720,000	3,120,000
2011年度	1,500,000	450,000	1,950,000
総計	7,500,000	2,250,000	9,750,000

研究分野：日本経済史

科研費の分科・細目：経済学・経済史

キーワード：オーストラリア政府接收日本商社資料、兼松房治郎、兼松商店、三井物産在豪支店、羊毛買付、戦時豪州羊毛管理、雑貨工業品

1. 研究開始当初の背景

オーストラリア国立公文書館シドニー館の所蔵するオーストラリア政府接收資料の在豪日本商社資料を駆使した先駆的研究としては、W. R. Purcell の ‘The Nature and Extent of Japanese Commercial and Economic Interests in Australia 1932-41’ (Unpublished Ph. D Thesis, University of New South Wales, 1980) と ‘The Development of Japan’s Trading Company Network in Australia 1890-1941’ *Australian Economic History Review* 21(2), 1981 があり、近年の研究としては、Pam Oliver ‘Japanese Immigrant Merchants and the Japanese Trading Company Network in Sydney, 1880s to 1941’, P. Jones and P. Oliver, eds. *Changing Histories*, Monash University Press, Melbourne, 2001 があるが、これらの諸研究は、戦前の在豪日系諸企業の概括的研究に止まっており、モノグラフとしては必ずしも十分なものとはいえないと思われる。そこで、本研究では、戦前の在豪日系諸企業の経営動向を資料に即して実証的に検討することとした。

研究代表者の天野雅敏の所属する神戸大学には、日豪直貿易の先駆者兼松商店の帳簿資料が所蔵されており、天野は、1996 年以来その資料調査をおこない、天野雅敏・井川一宏共編『兼松資料目録』(神戸大学経済経営研究所附属経営分析文献センター、1999 年)を刊行するとともに、兼松資料の研究に従事し、2004 年 4 月—9 月にはオーストラリア国立大学に留学し、オーストラリア国立公文書館シドニー館の所蔵するオーストラリア政府接收資料の在豪日本商社の諸資料やキャンベラ館の所蔵する戦前の日豪通商関係資料の重要性を認識するに至った。そこで、兼松資料にもとづくこれまでの研究をふまえて、オーストラリア政府接收資料を包摂することによって資料的基礎を拡充し、商社を中心に戦前の在豪日系諸企業の動向を解明してみたいと考えるに至った。

2. 研究の目的

豪州の戦前の主要輸出品であった羊毛の輸出先は、当初イギリス、フランス、ドイツ、ベルギー等のヨーロッパ諸国であったが、1920 年代に入ると日本向け輸出が増加し、日本は 1930 年代にイギリスにつぐ世界第 2 位の豪州羊毛の輸入国になっていた。日豪交易の重要性はこうして増大したが、日豪交易の一次資料にもとづく本格的な研究はまだなされていなかったため、本研究は、このような未開拓な日豪交易の社会経済史研究に挑もうとするものであった。

日本向け輸出の増大は、日本の商社の豪州進出によって可能になったものであり、1890

年に兼松商店が、日露戦後に三井物産、大倉組、高島屋飯田が、1920 年代初めに三菱商事、日本綿花が参入していた。そこで、本研究では、主としてオーストラリア国立公文書館シドニー館の所蔵するオーストラリア政府接收資料に所収されているこれらの商社の在豪支店の関連資料を調査・収集し、日本が豪州羊毛の主要輸入国となる過程における商社の役割を究明することにつとめることとしたのである。

3. 研究の方法

本研究は、オーストラリア政府によって接收された貿易商社を中心とする日系諸企業の資料に焦点をあてて、戦前の日豪交易の本格的な社会経済史研究をおこなうことを目的としていたので、そのためには、海外調査を含む広範な資料調査とそれによって得られた収集資料の本格的分析とそうした研究成果の相互批判の機会をもつことが是非必要と思われた。そこで、研究代表者と研究分担者によるオーストラリア国立公文書館シドニー館等への資料調査を実施し、その間に海外の研究協力者をも含む拡大研究会を神戸大学で開催し、研究成果の整理とその公開に向けて準備をかさねた。

2008 年度には、研究代表者と研究分担者がオーストラリア国立公文書館シドニー館でオーストラリア政府接收日本商社資料の調査を実施し、2009 年度には、研究協力者をオーストラリアから招聘し、神戸大学で研究会を開催した。またオーストラリア国立公文書館シドニー館で三井物産、兼松商店関係資料の調査をおこなった。また 2010 年度には、オーストラリア国立公文書館シドニー館の所蔵する三井物産・三菱商事の在豪支店の資料調査を継続するとともに、アメリカ国立公文書館新館の所蔵する三井物産・三菱商事在豪支店資料の調査をおこなった。そして、2011 年度には、オーストラリアから研究協力者を招聘し、神戸大学で同大学経済学研究科六甲フォーラムと共催の公開研究会を実施し、学外の研究者の参加を仰ぎ真摯な討論をおこない、研究成果の整理・確認と拡充につとめた。また、オーストラリア国立公文書館シドニー館の三井物産・三菱商事在豪支店資料の補充調査を実施した。

4. 研究成果

戦前の日本と豪州の交易について、主として貿易商社の動向に焦点をあてて本格的な実証研究をおこなうことを課題としたため、広範な資料調査と研究成果の相互批判の機会をもつことが必要であった。オーストラリア国立公文書館シドニー館をはじめ関係諸機関の資料調査は順調に進み、オーストラリアの研究協力者を含む研究会も開催した。そ

うした研究をふまえ、その成果として、まず天野雅敏著『戦前日豪貿易史の研究—兼松商店と三井物産を中心に—』（勁草書房、2010年）を刊行した。同書は、第1章で「1887—1888年の兼松房治郎の豪州視察」について検討し、第2章では兼松商店の輸出入業務の動向と経営改革をとりあげ、第3章では、兼松商店の損益構造を分析している。また第4章では、兼松房治郎の他界にともない、故人の公益に注いだ関心を継承するために、神戸、東京、シドニーでおこなわれた兼松翁記念事業についてとりあげ、第5章では日本の商社各社の豪州進出について概観し、第6章では三井物産のシドニー支店の「考課状」を使用して物産の豪州進出過程を解明した。同書は、2011年1月関西学院大学で開催された社会経済史学会近畿部会・経営史学会関西部会の合同合評会の対象図書としてとりあげられ、元オーストラリア学会会長で追手門学院大学名誉教授遠山嘉博から高い評価を得た。

さらに2011年度には、研究協力者のオーストラリア国立大学のテッサ・モーリス・スズキ・田村恵子両氏をまた招聘し、研究分担者の谷本雅之（東京大学）、花井俊介（早稲田大学）、重富公生（神戸大学）各氏と研究代表者の天野雅敏（神戸大学）が加わり、2012年2月19日に神戸大学で同大学経済学研究科六甲フォーラムと共催の公開研究会を実施し、研究成果の整理・拡充につとめるとともに、研究成果報告書のとりまとめに向けて努力した。公開研究会では、花井俊介、田村恵子、天野雅敏が報告をし、テッサ・モーリス・スズキ、谷本雅之がコメントをおこない、学外の研究者も参加し真摯な討論をおこなった。

そして、こうした公開研究会を踏まえて、2008年度～2011年度科学研究費補助金〔基盤研究B、課題番号20330072〕研究成果報告書『オーストラリア政府接收資料を中心とする戦前の日豪交易の社会経済史研究』（神戸大学大学院経済学研究科 天野雅敏研究室、2012年3月26日）を刊行した。同報告書の構成は「第1章 19世紀イギリス・オーストラリア間羊毛貿易の動向について」（重富公生）、「第2章 兼松商店の豪州進出について」（天野雅敏）、「第3章 三井物産の豪州進出について」（天野雅敏）、「第4章 資料紹介「（三井物産）シドニー支店羊毛課 日誌（戦時濠洲羊毛管理ノ経過）」—オーストラリア国立公文書館シドニー館所蔵・戦前期日本商社資料の利用可能性に関する一試論—」（花井俊介）、「第5章 日本の輸出貿易とオーストラリア市場—雑貨工業品に着目して—」（谷本雅之）、「第6章 神戸の英国人貿易商と太平洋戦争—国籍問題をめぐって—」（田村恵子）となっており、テッサ・モーリス・スズキ氏の総括的なコメントで締め括られ

ている。

本研究では、兼松資料にもとづくこれまでの研究を踏まえて、オーストラリア政府接收資料等を包摂して資料面の基礎を拡充し、戦前の日豪貿易の新たな社会経済史研究をおこなうことを目指した。日本の商社の豪州への進出時期を念頭において、1890年にシドニー支店を開設した兼松商店をとりあげ、日露戦後に進出した三井物産をとりあげた。そして、第一次大戦後の1920年代に進出した三菱商事の在豪支店の資料収集も鋭意進めた。しかし、三井物産、三菱商事の在豪支店の資料は膨大なものであるから、本研究では、日豪直貿易の先駆者兼松商店と三井物産シドニー支店の検討に力点を置いた。戦前日豪貿易史の研究には財閥商社の研究も欠くことはできないことが判明したが、それらについては、今後さらに研究を進めていきたいと考えている。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計9件）

- ① 重富公生「19世紀イギリス・オーストラリア間羊毛貿易の動向について」『オーストラリア政府接收資料を中心とする戦前の日豪交易の社会経済史研究』（基盤研究B・課題番号20330072・研究成果報告書）、査読なし、2012年、7頁—17頁。
- ② 花井俊介「資料紹介「（三井物産）シドニー支店羊毛課 日誌（戦時濠洲羊毛管理ノ経過）」—オーストラリア国立公文書館シドニー館所蔵・戦前期日本商社資料の利用可能性に関する一試論」『オーストラリア政府接收資料を中心とする戦前の日豪交易の社会経済史研究』（基盤研究B・課題番号20330072・研究成果報告書）、査読なし、2012年、51頁—65頁。
- ③ 谷本雅之「日本の輸出貿易とオーストラリア市場—雑貨工業品に着目して—」『オーストラリア政府接收資料を中心とする戦前の日豪交易の社会経済史研究』（基盤研究B・課題番号20330072・研究成果報告書）、査読なし、2012年、67頁—77頁。
- ④ 田村恵子「神戸の英国人貿易商と太平洋戦争—国籍問題をめぐって—」『オーストラリア政府接收資料を中心とする戦前の日豪交易の社会経済史研究』（基盤研究B・課題番号20330072・研究成果報告書）、査読なし、2012年、79頁—90頁。
- ⑤ Tessa Morris-Suzuki ‘Comments on the Research Forum Arising from the Grant-in-Aid for Scientific Research (KAKENHI) Project “Socio-Economic History of Japan-Australia Trade in the Prewar

Period: A Study Based on the Records Seized by the Controller of Enemy Property of Australia”『オーストラリア政府接収資料を中心とする戦前の日豪交易の社会経済史研究』(基盤研究B・課題番号 20330072・研究成果報告書)、査読なし、2012年、91頁-95頁。

- ⑥天野雅敏「私の歴史研究と史料調査」『経済史研究』、査読なし、第15号、2011年、199頁-208頁。
- ⑦田村恵子「20世紀前半の神戸の定住西洋人―史料の活用と研究の展開―」『海港都市研究』、査読なし、第5号、2010年、29頁-40頁。
- ⑧天野雅敏「戦前における日本商社の豪州進出について―兼松商店と三井物産の事例を中心にして―」、安藤精一・高嶋雅明・天野雅敏編『近世近代の歴史と社会』清文堂出版、査読なし、2009年、260頁-293頁。
- ⑨天野雅敏「戦前における三井物産の豪州進出について」『国民経済雑誌』、査読なし、第199巻第2号、2009年、17頁-32頁。

[学会発表] (計6件)

- ①天野雅敏「近代日本における商社各社の豪州進出と羊毛工業の発展」、科研研究会・神戸大学経済学研究科六甲フォーラム共催公開研究会、2012年2月19日、神戸大学。
- ②田村恵子「神戸の英国人貿易商と太平洋戦争―国籍問題をめぐって」、科研研究会・神戸大学経済学研究科六甲フォーラム共催公開研究会、2012年2月19日、神戸大学。
- ③花井俊介「史料紹介「三井物産シドニー支店羊毛課 日誌(戦時濠洲羊毛管理ノ経過)」」、科研研究会・神戸大学経済学研究科六甲フォーラム共催公開研究会、2012年2月19日、神戸大学。
- ④天野雅敏「天野雅敏著『戦前日豪貿易史の研究―兼松商店と三井物産を中心にして―』(勁草書房、2010年4月)をめぐって」、社会経済史学会近畿部会・経営史学会関西部会合同例会、2011年1月8日、関西学院大学。
- ⑤田村恵子「神戸に来た英国人たちの光と影」、北野町山本通伝統的建造物群保存地区30周年記念講演会、2010年2月6日、北野工房のまち講堂(兵庫県)。
- ⑥天野雅敏「戦前における日本商社の豪州進出について―兼松商店と三井物産の事例を中心にして―」、数量経済史研究会、2008年9月4日、財団法人国際高等研究所。

[図書] (計2件)

- ①天野雅敏編、神戸大学大学院経済学研究科天野雅敏研究室、『オーストラリア政府接収資料を中心とする戦前の日豪交易の社会経済史研究』(基盤研究B・課題番号 20330072・研究成果報告書)、2012年、97頁。
- ②天野雅敏、勁草書房、『戦前日豪貿易史の研究―兼松商店と三井物産を中心にして―』、2010年、166頁。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

天野 雅敏 (AMANO MASATOSHI)
神戸大学・大学院経済学研究科・教授
研究者番号：80122985

(2) 研究分担者

谷本 雅之 (TANIMOTO MASAYUKI)
東京大学・大学院経済学研究科・教授
研究者番号：10197535

花井 俊介 (HANAI SHUNSUKE)
早稲田大学・商学学術院・教授
研究者番号：70212149

重富 公生 (SHIGETOMI KIMIO)
神戸大学・大学院経済学研究科・教授
研究者番号：20206080

(3) 研究協力者

テッサ・モーリス・スズキ (TESSA MORRIS-SUZUKI)
The Australian National University,
College of Asia and the Pacific,
Professor

田村 恵子 (TAMURA KEIKO)
The Australian National University,
College of Asia and the Pacific